

8月の星空まっふ

〔8月中旬、午後8時頃に見える星空〕

「地球温暖化の時代は終わり、地球沸騰化の時代が到来した」、との報道…。銀河鉄道からは湯気立つ地球が見えるじやろう。銀河の星たちよ、地球を冷やしてくれ!!

ホミリーも、七夕さまにお願いたしたよ。地球の湯気が無くなるようにって!!そしたら、銀河鉄道から地球はきれいに見えるんだよね!!

「銀河鉄道」!!

何と素敵な名前だろう!

この時期になると、星じいは、宮沢賢治の描く童話「銀河鉄道の夜」の世界に心惹かれる。この童話、皆さんもどこかできくと出会っているのではないかな?今年も、宮沢賢治の没後90年。そこで、今回は、その代表作「銀河鉄道の夜」に描かれた星たちを訪ねてみよう。

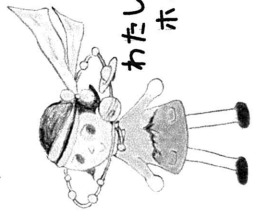
賢治は、天の川銀河の星の世界を、二人の少年の目に見せ心に、どのように描いて見せてくれているだろうか?

【天の川】

数千億個の星の大集団「天の川銀河」。その一員である地球から見ると、まるで夜空に掛かる光のアーチ。その見え方からミルキーウェイとも。

【はくちよう座】

星の並びから、「みなみじゅうじ座」に対比して「北十字」とも呼ぶ。くちばしに輝くアルビシオは、二重星で、**パースの金色と7Aの青色に輝き**、その美しさからまさに「**天の宝石**」。また、この二重星を天の川の水を測る「**アルビレオの観測所**」と呼んだ。(続きは、右欄下に続く。)



わたし、ホミリー

北極星

カシオペア座

天の川
(光のアーチ)
(ミルキーウェイ)

はくちよう座

夏の大三角

アルタイル

わし座

アルビレオ

北十字

パース

こと座

アルビレオの観測所

天の宝石

アルビレオ

はくちよう座

デネブ

はくちよう座

はくちよう座

はくちよう座

はくちよう座

はくちよう座

はくちよう座

はくちよう座

はくちよう座

はくちよう座

はくちよう座

北

おおぐま座

こぐま座

北斗七星

アルクトゥールス

おとめ座

春の大曲線

かんむり座

スピカ

おとめ座

おとめ座

おとめ座

おとめ座

おとめ座

おとめ座

おとめ座

おとめ座

おとめ座

おとめ座

おとめ座

おとめ座

おとめ座

おとめ座

おとめ座

南

さそり座

さそり座

さそり座

さそり座

さそり座

さそり座

さそり座

さそり座

さそり座

さそり座

さそり座

さそり座

さそり座

さそり座

さそり座

さそり座

さそり座

さそり座

さそり座

さそり座

さそり座

さそり座

さそり座

2023.8

星爺 (ほしじい)

今年も、夏空の楽しみ「ペルセウス流星群」がやってくる。この流星群は、3大流星群の一つで、明るい流れ星が多く、夏の夜空を飾る花火にも例えられるとおり、見応え十分な流星群だ。

極大日は**8月13日未明**、今年も月明りが無く好条件での観察を楽しめる。見頃は**12日～14日、1時間あたり30個程度の流星**が見られるとのこと。放射点のあるペルセウス座は午後10時頃に北東の空に昇ってくる。

*出現期間は、7月20日～8月20日
流れ星は、宇宙空間にある千リが地球大気に高速でぶつかって発光する現象。ペルセウス座流星群は、スイト・ヤトル彗星が母彗星で、その軌道にまき散らした千リの中を地球が通過することにより起きる。
(左欄からの続き)

【さそり座】

赤く輝くアンタレスは、サソリの心臓。火星の赤色と星空に競いあう。赤い星の色は、長い星の一生が寿命に近づいているあかし。いくつもの命を奪ったサソリが、「みんなの幸いのため」に自らの身を燃やして暗闇を照らす火として描がれている。

【みなみじゅうじ座】

銀河鉄道の終着駅。全天88個の星座の中で一番小さい星座だが、2つの1等星を持っている。15～16世紀の大航海時代には南緯60度辺りにある。して使われた(位置的には南緯60度辺りにある)。

【星空まっふの見方】

南の星空を見上げる時は「南」を下に、北を見る時はまっふをさかさまにして「北」を、同様に東の空は「東」、西の空は「西」を下にして見上げてね!

*みなみじゅうじ座は、日本では一部を除いて見ることができない。

● 1等星以上 ● 3等星
● 2等星 ● 4等星以下

